

1月の活動② 新人登山大会出場

1月 24 日 (土)・25 日 (日)

満を持して (?) 神奈川県高体連登山専門部主催の新人登山大会に参加しました。

【Day1 開会式～就寝】



今回の会場は秦野市にある滝沢園キャンプ場でした。大倉バス停を下りてすぐの橋のたもとにひっそりと「丹沢賛歌」という歌の碑がありました。



受付終了後、テント設営をしました。1年生も技術が上がって10分かからずに設営が完了しました。



14時 開会式スタートです。登山専門部部長から「今回は競技ではなく『交流』です。交流を通して各校の工夫を学んでください。そして神奈川県登山専門部では『安全登山』をめざしています。それが達成できるように各校がんばりましょう。」という趣旨のお言葉がありました。



開会式の後、秦野自然環境保全センターの職員の方からレクチャー（クイズ大会）があり、その後名物の『交流会』がスタートしました。まずは2年生副部長のMCから。

顧問からは「交流会はスペツた者勝ちだから、そのくらいのつもりで出し物を考えてね。」とミッションが課されました。部員は「え～」と乗り気ではなかったものの各自考えてきました。



今回の出し物は1年生による一発芸でした。結果はスベるどころか**大ウケ**でした。司会を務めた秦野高校の生徒からも「北陵、めっちゃ面白かったです WWW!」と大絶賛でした。

【お詫び】顧問は出し物に見入ってしまったため、実際に何をやっているかの写真を撮ることができませんでした…。



開会式終了後、早速調理にとりかかりました。



?謎の調理が始まっています。全貌はこの後明らかになります www。砂糖が気になりますが…。



何やら上等そうな肉を加工しています。生徒曰く「和牛です www.」

夏場はどうしても防腐や食材の保存に気を遣わなければいけませんが、冬場はその心配がなくなります。部員たつの「どうしても肉が食いたいっす！」という希望を形にしています。



コメも上手に炊き上がりました。



主菜も完成です。



本日のメニュー① ビーフシチューライス

【材料】

- ・牛肉…1kg
- ・ジャガイモ…5個
- ・ニンジン…3本
- ・玉ねぎ…3個
- ・ルー
- ・にんにくチューブ…1本
- ・コーヒーに入れるクリーム…少量
- ・コンソメ…少量

【調理方法】

- ・玉ねぎをくし形切りにする→ジャガイモは一口サイズに切る→ニンジンは乱切りにする→牛肉を炒める→玉ねぎとニンジンを炒める→最後にルーと調味料と具材を煮込んで完成



暗やみの中での晩さん会がスタートしました。

そして先ほどの謎の調理の正体ですが…。



チーズケーキでしたwww。顧問からの「攻めたメニューを1つ作りなさい。」というお題から生まれました。

【材料】

- ・クリームチーズ…400g
- ・砂糖…100g
- ・生クリーム…200g
- ・ヨーグルト（無糖）…160g
- ・レモン汁…大さじ1
- ・ブルーベリー…1袋

【調理方法】

- ・鍋にチーズを入れて混ぜる→砂糖を加えて混ぜる→生クリーム/ヨーグルト/レモン汁とゼラチンを混ぜる→タルト生地に入れて平らにする→完成



旨い！

調理をしているところに、横浜修悠館高校と川和高校と藤沢翔陵高校が遊びに来ました。そこでお互い山行計画書の交換が行われました。調理の様子や山行計画書を目にして「手が込んだことをしていますね。」「うちも今度ケーキをやってみよう。」など、北陵ワンゲルの取り組みに興味を持ってくれたようです。この日は翌日の食材の下ごしらえもあり、もうもうの準備が終わって消灯ギリギリに床に就きました。夜はかなり冷え込む予報ですが、みんな防寒対策をしてきたでしょう。

【Day 2】



朝 4:30 に起床。4:40 ごろに調理からスタートしました。しかし寒い…。予報では朝 4 時の気温がマイナス 3°C !



今回は顧問から「パン食で献立を考えよ。」というお題を出しました。時短調理かつ摂取カロリーを計算してできたものは…。



ホットドッグ（風の）パン

【材料】

- ・ソーセージ…30本（一人2本の計算）
- ・コッペパン…30個（コッペパンが手に入らず食パンで代用）
- ・（好みで）ケチャップと粒マスタード

【調理方法】

- ・ソーセージを焼く→パンにはさむ→ケチャップとマスタードをお好みで塗って完成

※このやり方は過去に顧問が大会引率をしたときに足柄高校山岳部の顧問の先生のアイディアをヒントにしたものです。

もう1品ポトフを作りましたが、画像を撮り損ねたためレシピのみ公開します。

ポトフ

【材料】

- ・ジャガイモ…8個 ・ニンジン…3個 ・ソーセージ…15本 ・キャベツ…1/2 個 ・玉ねぎ…4個 ・マカロニ…1袋

【前日の下ごしらえ】

- ・ジャガイモをタテ 2.5 cm 程度の大きさに切る。
- ・ニンジンを 1 cm 程度のさいころサイズに切る。

【当日の調理】

- ・湯を沸かす→ジャガイモとニンジンをゆでる→キャベツを一口サイズにざく切りにする→玉ねぎをざく切りにする→ジャガイモとニンジンをゆでている湯に入れる→マカロニを入れる→調味料で味を調えて完成

朝の2時間で調理とテント撤収を同時進行で行ったためバタバタしました…。



6:30 出発

北陵は A コース（鍋割山）をめざすコースに参加。北陵の他には麻布大学付属高校・相洋高校・川和高校・光陵高校・横浜修悠館高校が一緒に登りました。その数総勢 100 名近く！



山頂までの厳しい戦いの始まりです。



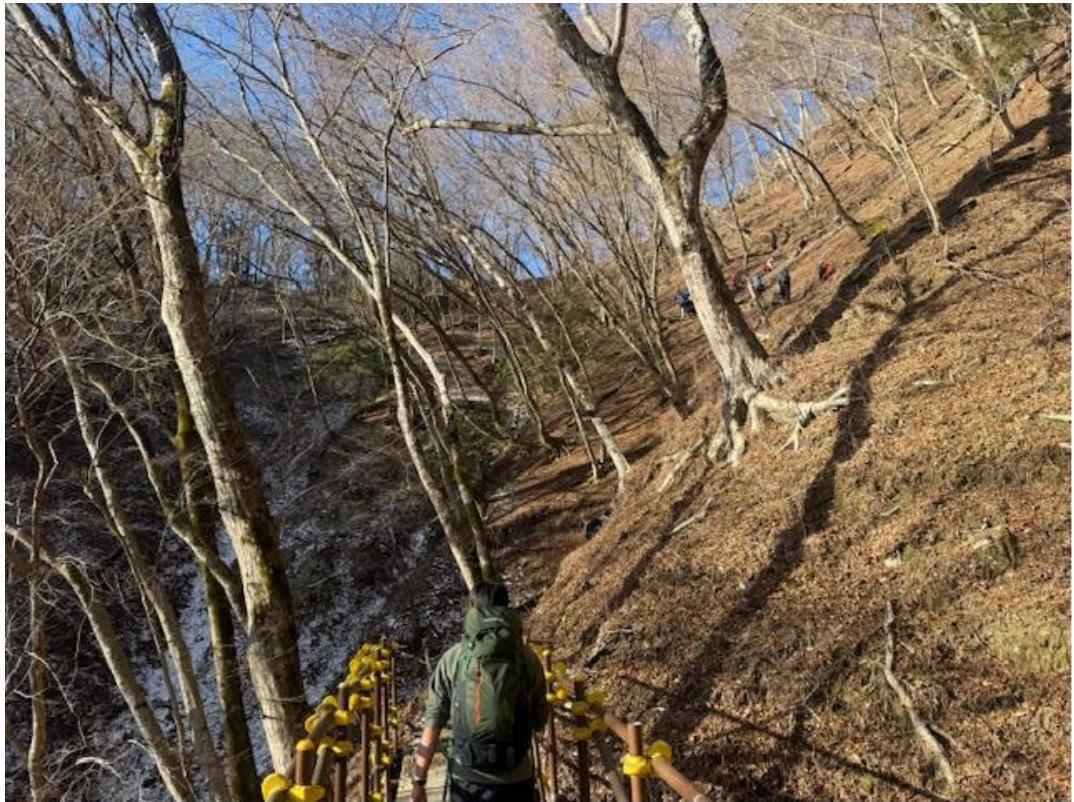
登山口まで歩くこと 90 分。途中休憩はあったものの、ペースも早くいきなりの厳しい戦いでした。



先日の雪がまだ登山道に残っていました。



鍋割山までのコースは人気があり、雪が降っても踏み固められます。ところどころアイスバーンになっていて、歩くときには注意を払わなければなりません。



通過地点の後沢乗越（うしろざわのっこし）

*乗越…登山用語で峠を指します。



断続的に急登が続きます。



今回は麻布大学附属高校・相洋高校・川和高校・光陵高校・茅ヶ崎北陵高校・横浜修悠館高校の順番で隊列を組みました。



冬場は落葉しているため、吹きさらしの風がとても冷たいです。この日も風速は2~3mあったので、体感温度はおそらく-1°Cくらいだったのかなと思います。



山頂まであと一息！



鍋割山名物の鍋焼きうどんを提供する山小屋「鍋割山荘」です。これが鍋割山のランドマークです。



鍋割山登頂成功！
「よ～！す○ざんまい！」のポーズ。



写真撮影後、下山に向けて食事を摂りました。



山頂から見た秦野市街・松田町周辺と相模湾。



10：30 から交流会第 2 弾。



北陵は2番手でした。最初の学校が学校紹介をした流れで、北陵もその流れで…。



A隊（鍋割山）にエントリーした各校選手のみなさんと記念撮影。



～A隊チーフリーダーの先生からの一言～

「今日は仲間と交流を深めることが目的ですが、今度の5月はここにいる仲間と『安全登山』を競い合います。ここにいる仲間と安全登山を競い合えるよう、各校準備を進めてください。」



下山途中のワンシーンです。長い林道をひたすら歩きました。



最後に全員そろって帰着報告。お疲れさまでした。

各校との別れ際に必ずかわす言葉は、

「また山で！」

「また一緒に登りましょう！」

フィールドに出たらみんなが仲間という意味の言葉で、私（代表顧問）が好きな言葉です。